「はばたく中小企業・小規模事業者300社」選定

やりたがらないものを

㊤タツミ製作所

大間々町のものづくり

みどり市大間々町のものづくり企業3社が今年度、みどり市商工会(関口好一会長)の支援を受け、国の「はばたく中小企業・小規模事業者300社」や「地域未来牽引（けんいん）企業」に相次ぎ選定された。各社の取り組みを紹介する。

IT（情報技術）導入や経営資源活用による生産性向上や人材活用など、さまざまな分野で活躍する中小企業・小規模事業者2020年度「はばたく中小企業・小規模事業者300社」（生産性向上）に選定された金属加工業のタツミ製作所は、赤石達美さんが1968年6月創業。汎用（はんよう）旋盤1台から出発し、79年7月に法人化。現在は2代目の赤石康生さんが社長を務める。

小型モーター部品の量産から出発し、現在はマシニングセンター19台とNC旋盤20台、CAD／CAM（コンピューター利用設計・製造）を導入。長年自動車部品を主力としているが、約3年前から難削材の加工をはじめとする産業用機械関連部品の小ロット生産にも力を入れる。

「人がやりたがらないようなもの、一つ当たりの付加価値の高いものに積極的に取り組んでいる」と赤石社長。「選定は励みになる。自信にもつながり、次へのステップにしたい。恥じない仕事をしていきたい」と語る。

従業員の多能工化促進など、人材育成にも力を入れている。

「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選ばれたタツミ製作所

清潔保って持ち運び

石井さん、抗菌的ウイルスボックス開発

抗菌加工した「持ち運び型抗菌的ウイルスボックス」